

わくわく園だより (コドモン用) 2023年4月8日(木) No.1 文責: 牧野

どこかで「春」が生まれている どこかで水が流れ出す
どこかで雲雀(ひばり)が啼いている どこかで芽が出る音がする
山の三月東風(こち)吹いて どこかで「春」が生まれてる。



暖かい空気に包まれて「春」が誕生する光景、生命の息吹を感じる季節を迎えました。訓子府に来て3年が過ぎようとしています。豊かな環境に囲まれて、心豊かな日々を過ごしています。こども園近くの庭の福寿草に足を止めた春に始まり、黄金色に染まる秋の丘陵地帯は、冬には、どこまでも続く白銀の世界になります。子どもたちは毎日散歩に出かけ、どっぷり自然の中に浸っています。

子どもたちの一生懸命な頑張りに胸が熱くなったり、人の優しさ触れ感動したり、先生方のチームワークのよさなど、園だよりのネタは多すぎて、与えられた紙面には収まりません。

訓子府のよさは、3年ではまだわからない。「どこかで春が」の歌詞のように、よ〜く観ると、今まで気づかなかったことが、まだまだたくさんあるように思います。今年もまた、四季の移ろいの微妙な変化と子どもたちの成長の姿を繊細にとらえる感受性を持ち続け、伝えていきたいと思っています。月末に発行していた園だよりを毎週末の発行に変更し、タイムリーな情報をお届けします。

///こども家庭庁 始動 異次元の少子化対策に期待! ///

認定こども園の在り方も大きく変わります。また、今回の地方統一選挙では、子育て支援を一番の公約に挙げている候補者が多いそうです。これからの政策に期待しています。

子育ては、社会全体で行うようになり、女性の社会進出が促進されますが、岸田首相は、こども家庭庁の職員に対し、「子育ての当事者として、率先して子どもと過ごす時間を作ってほしい。」と呼びかけました。どんなに時代は変わっても子育ての一番の責任者は、親であることには変わりありません。お母さんだけではなく、お父さんもです。次に私たち職員です。子ども園の職員は、保護者の皆さんと一緒に子育てを「がんばります」

・・・4月10日(月)から16日(日)までの動き・・・

- 10日(月) 訓子府高校の入学式(園長出席)分掌主任会議
- 11日(火) 家庭訪問開始 3歳~5歳児 4月21日まで
- 12日(水) お集まり会 町内校長会議(園長、副園長出席)
- 14日(金) 管内校長会議(網走:園長出席)

玄関で、泣きじゃくる子がいました。年度初めのいつもの光景です。まだ、新しい環境に慣れず、お母さんと離れるのが不安なのです。感受性の豊かな子なのです。

訃報

新年度早々、森前子育て支援センター長さんの訃報が届き、驚きと悲しみに包まれました。4月4日、棺を載せた車が、こども園と子育て支援センターを回りました。妹さんの手には、にっこり笑った森先生の遺影がありました。豊富な保育経験と気遣い、心配りの優しいお人柄は多くの子どもたち、同僚の保育士から慕われていました。また、保護者にとっては頼れる存在でした。こども家庭庁のスタートと重なり、子育て支援がこれからますます重要になってくる矢先のことでした。ますますのご活躍を期待するところでしたにだけに残念でなりません。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

~お知らせ~

*こども園の園長と子育て支援センターのセンター長を兼ねることになりました。